

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月23日（17:00～18:30）

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	8人	2人	人	人

前回の改善計画
情報が不十分と思われる利用者については、十分な情報が得られるよう利用開始までに何度も聞き取りや確認を取るよう努めると共に、介護認定調査の情報も活用し、利用者、家族の同意を得た上で初期支援の情報源として活用する。

前回の改善計画に対する取組み結果
初期支援の情報等は本人・家族からだけでなく、かかり付けの医療機関や総括などから得るように努め、サービスの提供が出来、ミーティングや書類を回覧して、職員が確認を取る事で、目標について職員全員が同じ意識でサービス提供に取り組めるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	5名	5名			
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1名	2名	1名		
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	2名	7名	1名		
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		9名	1名		

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
情報共有について、口頭だけでなく書面で回覧しているため、確認がとりやすく、勤務の都合で会議にでなくてもよく分かる。これにより、利用者や家族の希望や意向、状態や生活背景がきちんと把握できることで、初期支援につきものの不安や戸惑いが、利用者側・施設側ともに、かなり低減できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
介護サービスを利用したことがない方や、あまり病院にかかっている方について、本人や家族からの情報だけでは不十分なことがあり、そういった方については利用を開始されてから試行錯誤となってしまった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
送迎時に挨拶をするぐらいで、家族からゆっくり話を傾聴する機会がないため、日程を相談し、家族や本人と話をする場を作るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月23日（17:00～18:30）

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	7人	3人	人	人

前回の改善計画
認知症の利用者については、言葉によるコミュニケーションが取りづらいため、表情や顔色、仕草などから気持ちを読み取るように努めているが、毎月のモニタリングやミーティングを通じて、利用者個々の思いや関わり方の検討をおこなう。

前回の改善計画に対する取組み結果
ミーティングでの発言や振り返りについては、必ず議事録に記載して全員に配布し意識の統一を図るようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1名	3名	6名		
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1名	5名	3名		
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	名	5名	5名	2名	
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		6名	4名		

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアマネが利用者や家族は何を求めているのか正しく知り、本人に残っている能力や、生活環境など把握、確認した上で、生活全般の課題を抽出して介護計画を作成し、個々の利用者の目標や意向を職員に周知し、本人の目標達成を目指したサービスの提供に努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
認知症の利用者については、意思の疎通がはかりにくく、何を求めているのかが確認しづらい。
また、この方がより適したサービスではないかと提案しても、本人・家族の理解が得られないことがあり、理解が得られるような説明や提案が難しいと感じている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
「認知症だから何度も説明しても分かってもらえないだろう」という気持ちは持たず、長い目で話をしながら、また家族にも同じように長い目で話をすることで理解してもらおうよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月23日（17:00～18:30）

3. 日常生活の支援

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	5人	人	人	人

前回の改善計画
現在の状態に応じた介助や支援はできているが、以前の暮らし方の把握が不十分なので、きちんと理解・把握ができるよう、ミーティングなどを通じて働きかける。

前回の改善計画に対する取組み結果
毎月1回のミーティングだけでは、利用者の月途中での状態変化や日々の変化に対応できないため、それらについては朝の申し送りや回覧、連絡ノートを活用し、全職員が気がついたことや変更事項、留意事項を共有出来るようになり、利用者に対する適切な対応ができるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	4名	6名			
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	10名	名			
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	3名	7名			
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	7名	3名			
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	7名	3名			

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者本人の状況について、アセスメントに基づいた、以前の暮らし方、現在の状況、現病歴・既往症、かかりつけ医、家族構成、本人・家族の希望や意向等を職員全員で共有できている。
また、情報と異なることが見られたり、変化があった場合にも、記録や申し送り、連絡ノート等を通じて共有し、対応できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
現在の状態に応じた介助や支援はできているが、以前の暮らし方の理解や把握がまだ不十分な職員が半数近くいる。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
職員が、利用者の以前の暮らしがわかるアセスメント記録や情報に必ず目を通す機会を作ったり、本人からの言葉や態度などから気持ちをくみ取ったりする努力をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月23日（17:00～18:30）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	5人	4人	1人	人	人

前回の改善計画	地区の民生委員や隣人・知人・ボランティアなどの地域資源を、家族などに確認し、何かあった際の支援や協力ができるようにしておく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地区の民生委員との連絡・調性は介護をしている職員には難しいため、ほとんどできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	7名	3名			
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	3名	5名	2名		
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	4名	4名	2名		
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		6名	4名		

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の状況については、情報を共有し、職員の理解が得られている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 今の暮らしに必要な民生委員や、隣人・知人・ボランティアなどの地域の資源については把握が不十分となっている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) コロナ禍であり、他の人と接する機会も減っており、話し相手もないという状況である。利用者も此医者のため、今の段階では支援を受けるのは難しく思っているが、色々な方の手を借りながら対応していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月23日（17:00～18:30）

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	8人	2人	人	人	人

前回の改善計画	必要な時に必要な支援が提供できるよう、宿泊についての体制整備をさらに進め、夜勤者の増員、教育に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部での研修は勤務や人員配置の都合上増やしていないが、毎月のミーティングにて、職員の質の向上を目指した話し合いや指示を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		4名	6名		
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	8名	2名			
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか？	8名	2名			
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	9名	1名			

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 一昨年度までは宿泊が金・土・日の週3日しか提供できなかったが、体制を整備したことで昨年度の途中から水・木・金・土・日の週5日提供できるようになった。このことで、一時的な宿泊については曜日を問わず対応出来る様になってきている。 また、本人の状態に応じて午後から自宅へ送るなど、柔軟な支援もできている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 昨年度に比べると整備が進んでいるが、宿泊の提供がいつでも可能とは言えない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 人員配置に関して難しいところがあり、人員の増員を考え、利用者に安心して過ごしてもらえるよう努力していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月23日（17:00～18:30）

6. 連携・協働

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	8人	2人	人	人	人

前回の改善計画

小規模な事業所であり、入浴サービスや個別リハビリ等の時間の制約や、ホールのスペースにも限りがあるため、積極的に来園を呼びかけるのは難しいが、今後も地域との関わりが保てるよう、様々な機会を捉えて連携していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

園長が各地区の地域サロンに出席し、つくし園の紹介をするともにパンフレット等を配布した。また、毎月行われている地域サロン、地域ミーティングに参加し、他事業所や医療機関との連携を図っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	6名	4名			
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	5名	5名			
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		4名	6名		
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			10名		

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
医療機関や福祉用具貸与事業所等と会議や連絡・調性がスムーズにできている。
また、地域包括支援センターや医療機関、他事業所が出席する地域ケア会議にも出席している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地区の敬老会や一世帯一作品展などの町の催し物などには参加しているが、地域住民がつくし園を訪れるのは愛育委員会と地域ボランティアグループ、子供会としては亥の子だけであった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用者は高齢者であり、コロナ感染症の危険もある為、今現在は、来園をお断りしている状況である。コロナ禍が落ち着けば、考えていくこととする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月23日（17:00～18:30）

7. 運営

メンバー 10

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	10人	人	人	人	人

前回の改善計画
 地域の方と会う機会を設けるのは、なかなか難しいと思われるので、地域住民の代表ともいえる方々や行政の方に参加頂いている運営推進会議にて、地域の方からの意見や苦情があれば遠慮無く言ってもらえるようお願いをする。

前回の改善計画に対する取組み結果
 意見や苦情はでているものの、毎月のモニタリングや園からのお知らせ等をする際には、必ずご意見・ご希望等ありましたら、遠慮なくお申し出下さいとアピールしており、サービス内容やつくし園での状況確認についての問い合わせは頂けている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	7名	3名			
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		9名	1名		
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		8名	2名		
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	6名	4名			

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 毎月のミーティング等を通して職員の意見や思いが言える場を設けており、活発な発言や協議ができており、ほぼ毎回何らかの意見を採用し、職員全員で共有できるよう回覧や資料配付をしている。また、利用者・家族等の意見や意向についても、送迎時や毎月のモニタリング、予定票交付時に確認をしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 利用者や家族からの意見や苦情を頂く機会はあるが、地域の方からの意見や苦情を頂く機会が中々作れていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 地域の方と話をする機会はほとんどなく、地域住民の代表や行政の方等に参加頂いている運営推進会議もコロナ禍のためできないときも多く、あまり意見を聞けていない。コロナ感染症が落ち着き、会議ができるようになれば、意見などをいただいたり、地域との交流に努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月23日（17:00～18:30）

8. 質を向上するための取組み

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	8人	人	人	人

前回の改善計画	つくし園全体の質の向上については、一回限りとか、今年度だけという取り組みではなく、園が存続している限り、継続して取り組むべきことと捉えており、引き続き研修やリスクマネジメント等をおこなっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	正規職員については、国家資格である介護福祉士の資格を取得している者の割合も多く、質の向上に努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		10名			
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		10名			
③	地域連絡会に参加していますか			10名		
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		10名			

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職場内の研修について、全員が参加できるような機会を設けており、毎月1回実施している。 また、資格取得やスキルアップについても、積極的に促して、啓発している。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 勤務態勢が難しい時もあり
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 今はコロナ禍にあり、色々な研修も中止になっているが、職員の質の向上については、毎日の業務が勉強であり、新しい気持ちで利用者として接していくよう努める。また、利用者に対しては、人権を尊重し、自立支援を考え、責任を持つようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年3月23日（17:00～18:30）

9. 人権・プライバシー

メンバー 10名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	10人	人	人	人	人

前回の改善計画
成年後見制度についての研修を実施し、活用の有無に関わらず、制度の理解に努める。
また、人権の尊重やプライバシーの保護は、当然のことであり、継続して研修をおこなう。

前回の改善計画に対する取組み結果
生年後見制度の研修参加はできていない。
個人情報の管理は、利用者のファイルを透明なクリアファイルから、透けて見えない本のような紙製のファイルに変更し、施錠出来るロッカー内に保管するようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	10名				
②	虐待は行われていない	10名				
③	プライバシーが守られている	10名				
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10名				
⑤	適正な個人情報の管理ができています	10名				

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待など、人権を損なうようなことは、当然のことながらしていない。
また、入浴において見られたくないの一人だけで入りたいとの希望された利用者には、時間をずらして入っていただくなど、プライバシーの保護もできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
生年後見制度については、該当する利用者がおられないものの、制度を知っている職員が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
入浴に関しては、個室で1対1で対応しているが、その日その日で入浴の人数も違い、多い日もあるため、その時はせわしなくすることが多く、もっとゆっくり入りたいという声もある。泊まり利用やデイ利用の人数など考慮し、無理のない人数に調整していく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 慈風会	代表者	花房 宏祐	法人・ 事業所 の特徴	当法人は障害者支援施設、介護老人福祉施設（通所介護、グループホーム併設）、小規模多機能型居宅介護施設の3施設を運営しており、地域福祉の拠点施設を担うべく、サービスの向上、職員の質の向上に努めています。 また当事業所は奈義町の指定管理を受け、地域包括システムの一翼として、介護サービスの提供はもとより、奈義町通所付添サポート事業の中核として入浴の場を提供しています。
事業所名	奈義つくし園	管理者	須江 みどり		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	6人	人	人	人	人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	前回の改善計画では具体的な取組を話し合い少しずつだが出来ていた。今後も原因をよく分析し、全職員が知恵を出し合って取組、引き続き努力する。	毎月のミーティングや臨時の会議などを通じて職員全員で検討し、意見を集約することで改善をはかることができた。	事業所全体でサービスの向上に取り組んでおり、その結果が利用実績に如実に表れている。	サービスならびに職員の質の向上するため、また個々のスキルアップに努め、職場内外での研修や資格の取得について取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ感染症にて今回は地域の行事・サロン等参加出来ていないが、また機会を捉えて参加し事業所のしつらえ・環境について説明する機会を増やす。	新型コロナウイルス感染症対策として、色々な所にも行けず、人に会う事も制限されていた為色々な取組が出来なかった。緩和されればして行きたい。	各地区の方とのふれあいなどはあまり出来ていない。今後も感染症に注意をし、地域の方々とふれあう機会を少しでも作ってほしい。	門扉を原則開放したり、気軽に入りやすい環境を作る。照明などを考えながら、明るく、快適で安全な利用環境を目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	積極的に地域包括支援センター等の関係機関と連携して地域との関わりを増やしていく。	地域包括支援センターや社協、医療機関など地域の関係機関を通じて地域住民とも良好な関係が築けている。	介護で忙しいとは思いますが、できるだけ地域の行事などにも参加してもらいたい。	地域住民との関わりを持つため、ボランティアの受け入れや、作品展やバラ園見学などを通じた交流を計画している。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	各地区の民生委員の方と計画的に連携して話し合いの場を作っていく。	コロナ禍でもあり、事業所、民生委員との時間的な調性も難しく、あまりできていなかった。	民生委員だけではなく、近所の方や地区長そして、家族に聞いて一番話しやすい（連携しやすい）相手と連携すれ良いと思う	住み慣れた地域での暮らしが継続出来るよう、個々の利用者に応じた交流を計画している。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で出た意見を改善につなげるよう努力する。また、会議の開催を増やしてコミュニケーションを深める。	運営推進会議での意見はおおむね事業所の運営に反映することができた。	事業所の運営についてはわからないが、委員の声は地元の声として聞いてもらえていると思う。	会議において地域の行事や情報などを教えて頂き、地域との関わりに役立つようにしていく。

F. 事業所の 防災・災害対策	防災計画書を作成し、年二回以上は実行する。	防災計画書は火災のみにとどまっており、自身や風水害などの防災計画はできていない。	いままで自身や水害等による大きな被害は発生していないが、利用者の安全のために、いろいろと想定した防災対策をしてもらいたい。	まずは泊まりの利用者の安全確認に向けて、中々出来ない夜間想定避難訓練に取り組んで行けるよう防災計画書を作成したい。
--------------------	-----------------------	--	---	---